



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場会社名 日本マイクロコーディング株式会社 上場取引所 大
 コード番号 5381 URL http://www.mipox.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)渡邊 淳
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員 管理本部長 (氏名)折登 進 (TEL)042-543-4711
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 2,322 | 5.4 | 22 | | 71 | | 103 | |
| 22年3月期第3四半期 | 2,202 | 21.0 | 464 | | 488 | | 1,015 | |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 10.14 | |
| 22年3月期第3四半期 | 99.71 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 5,535 | 3,696 | 66.4 | 361 00 |
| 22年3月期 | 5,901 | 3,878 | 65.5 | 379 61 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,675百万円 22年3月期 3,864百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | | 0 00 | | 0 00 | 0 00 |
| 23年3月期 | | 0 00 | | | |
| 23年3月期(予想) | | | | 0 00 | 0 00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|-------|-----|------|---|------|---|-------|---|----------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 通期 | 3,082 | 2.3 | 37 | | 83 | | 116 | | 11 | 40 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 社 ()、除外 社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 23年3月期3Q | 10,696,320株 | 22年3月期 | 10,696,320株 |
| 23年3月期3Q | 515,028株 | 22年3月期 | 514,988株 |
| 23年3月期3Q | 10,181,301株 | 22年3月期3Q | 10,181,350株 |

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を完了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. その他の情報 | 5 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 5 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 5 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 5 |
| (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (5) セグメント情報 | 11 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 12 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、新興国の経済成長や政府の経済対策等により緩やかな景気回復基調でありましたが、引き続き円高傾向や厳しい雇用情勢により、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループと関連が深い電子部品業界は総じて堅調でありましたが、当社グループ主力製品のエンドユーザであるハードディスク業界、光ファイバー業界においては秋以降の生産量減少の影響を受け、売上高は前年同期比増加したものの、低調となりました。

その一方で、これまで拡販の取り組みを続けてきた一般研磨市場では、前年同期比大幅増加となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は23億22百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

損益面においては、当社主力製品の売上低調の影響を受け、営業利益22百万円（前年同期は4億64百万円の営業損失）、経常損失71百万円（前年同期は4億88百万円の経常損失）、四半期純損失1億3百万円（前年同期は10億15百万円の四半期純損失）となりました。

事業別売上高の状況

事業別売上につきましては、次のとおりであります。

・研磨関連事業

() ポリッシングフィルム売上高は、14億59百万円（前年同期比22.6%増）となりました。前年同期と比較し、ハードディスク関連市場、光ファイバー関連市場での増加、一般研磨市場での増加が主な要因です。

() ポリッシングリキッド売上高は、3億10百万円（前年同期比29.6%減）となりました。主要用途のハードディスク関連市場にて、顧客での生産機種の変更に伴う使用量改善と販売価格低下により減収となりました。

() ポリッシングパッド売上高は、3億19百万円（前年同期比148.6%増）となりました。主要用途のハードディスク関連市場にて、ワイブテープの採用により売上が増加し、大幅な増収となりました。

・機能性薄膜塗布事業

() 機能性フィルム売上高は、10百万円（前年同期比69.4%増）となりました。当社オリジナルのハードコートフィルムにおいて大手顧客での限定機種での量産が続いております。

() 受託製造売上高は、41百万円（前年同期比44.9%減）となりました。製造受託委託先の製品展開が変更になり、減収となりました。

所在地別売上高の状況

所在地別の業績は、次のとおりであります。

() 日本

日本の売上高は、15億66百万円となりました。日本国内向けの売上は横ばいでしたが、海外向けのポリッシングフィルム売上が減少いたしました。その結果、セグメント損失は61百万円となりました。

() マレーシア

マレーシアの売上高は、11億8百万円となりました。主力のハードディスク関連市場、光ファイバー関連市場ともに売上が横ばいでありました。その結果、セグメント利益は55百万円となりました。

() 中国

中国の売上高は、6億16百万円となりました。主力の光ファイバー関連市場において顧客での生産調整の影響を受け、売上が減少いたしました。その結果、セグメント利益は33百万円となりました。

() 北米

北米の売上高は、3億55百万円となりました。主力の光ファイバー関連市場において顧客での生産調整の影響を大きく受けました。その結果、セグメント損失は2百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

連結財政状態

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は55億35百万円で、前連結会計年度末に比べ3億65百万円減少いたしました。主な内容は、受取手形及び売掛金1億43百万円の減少、商品及び製品57百万円の減少、仕掛品56百万円の減少等によるものであります。

(負債)

負債の部は18億38百万円で、前連結会計年度末に比べ1億84百万円減少いたしました。主な内容は、借入金1億58百万円の減少等によるものであります。

(純資産)

純資産の部は36億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億81百万円減少いたしました。主な内容は、四半期純損失1億3百万円を計上したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の65.5%から66.4%となりました。

連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より83百万円増加し、6億46百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、4億25百万円の収入(前年同四半期は6億88百万円の支出)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失89百万円を計上したものの、減価償却費2億20百万円の計上、売上債権1億6百万円の減少及びたな卸資産79百万円の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1億36百万円の支出(前年同四半期は1億72百万円の収入)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1億56百万円の支出(前年同四半期は12億34百万円の支出)となりました。主な要因は、長期借入れによる収入97百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出2億52百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想については、平成22年11月11日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました業績予想に変更はございません。

個別業績予想の概要(参考情報)

平成23年3月期の個別業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|-------|-----|------|---|------|---|-------|---|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 2,155 | 0.5 | 8 | | 95 | | 99 | | 9 | 79 |

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成22年11月11日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました個別通期業績予想は、修正してありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更

会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

2. 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に含めていた「新株予約権戻入益」は、特別利益総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結累計期間の特別利益の「その他」に含まれる「新株予約権戻入益」は1,995千円であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失()」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|-------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 795,676 | 712,482 |
| 受取手形及び売掛金 | 746,826 | 890,284 |
| 商品及び製品 | 200,120 | 257,696 |
| 仕掛品 | 367,035 | 423,135 |
| 原材料及び貯蔵品 | 120,195 | 113,838 |
| 繰延税金資産 | 8,110 | 11,623 |
| その他 | 61,755 | 124,006 |
| 貸倒引当金 | 3,145 | 16,697 |
| 流動資産合計 | 2,296,575 | 2,516,370 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 5,455,814 | 5,523,116 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,421,200 | 1,528,681 |
| 土地 | 1,053,575 | 1,054,163 |
| その他 | 422,453 | 316,523 |
| 減価償却累計額 | 5,231,534 | 5,226,019 |
| 有形固定資産合計 | 3,121,510 | 3,196,465 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 33,275 | 84,224 |
| 無形固定資産合計 | 33,275 | 84,224 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 37,836 | 42,084 |
| 繰延税金資産 | 230 | 203 |
| その他 | 52,932 | 68,340 |
| 貸倒引当金 | 6,644 | 6,644 |
| 投資その他の資産合計 | 84,354 | 103,983 |
| 固定資産合計 | 3,239,139 | 3,384,673 |
| 資産合計 | 5,535,715 | 5,901,043 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 209,759 | 192,127 |
| 短期借入金 | 858,000 | 858,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 269,232 | 320,092 |
| 未払法人税等 | 6,687 | 26,578 |
| 賞与引当金 | - | 3,203 |
| その他 | 104,729 | 122,079 |
| 流動負債合計 | 1,448,408 | 1,522,080 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 250,449 | 357,819 |
| 退職給付引当金 | 108,779 | 100,373 |
| 繰延税金負債 | 16,781 | 21,138 |
| その他 | 14,507 | 21,593 |
| 固定負債合計 | 390,517 | 500,924 |
| 負債合計 | 1,838,925 | 2,023,005 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,998,700 | 1,998,700 |
| 資本剰余金 | 2,953,700 | 2,953,700 |
| 利益剰余金 | 730,690 | 627,451 |
| 自己株式 | 481,314 | 481,309 |
| 株主資本合計 | 3,740,394 | 3,843,639 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13,842 | 16,361 |
| 為替換算調整勘定 | 78,762 | 4,936 |
| 評価・換算差額等合計 | 64,920 | 21,298 |
| 新株予約権 | 21,314 | 13,100 |
| 純資産合計 | 3,696,789 | 3,878,038 |
| 負債純資産合計 | 5,535,715 | 5,901,043 |

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 2,202,505 | 2,322,022 |
| 売上原価 | 1,405,374 | 1,383,320 |
| 売上総利益 | 797,131 | 938,702 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,261,700 | 916,510 |
| 営業利益又は営業損失() | 464,569 | 22,191 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,546 | 348 |
| 受取配当金 | 1,650 | 648 |
| 受取賃貸料 | 13,327 | 13,614 |
| 助成金収入 | 5,967 | - |
| その他 | 5,144 | 4,326 |
| 営業外収益合計 | 27,636 | 18,936 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 31,160 | 28,707 |
| 為替差損 | 14,250 | 77,442 |
| その他 | 6,549 | 6,154 |
| 営業外費用合計 | 51,960 | 112,304 |
| 経常損失() | 488,893 | 71,176 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 907 | 685 |
| 投資有価証券売却益 | 10,567 | - |
| 貸倒引当金戻入額 | 6,132 | 2,263 |
| 新株予約権戻入益 | - | 3,049 |
| その他 | 1,995 | - |
| 特別利益合計 | 19,602 | 5,998 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 43 | 849 |
| 減損損失 | 441,133 | 8,791 |
| 会員権売却損 | - | 5,584 |
| 会員権評価損 | - | 7,750 |
| 特別退職金 | 59,000 | - |
| 事業整理損 | 1,996 | - |
| その他 | 2,371 | 942 |
| 特別損失合計 | 504,545 | 23,919 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 973,836 | 89,097 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 25,322 | 13,127 |
| 法人税等調整額 | 16,023 | 1,014 |
| 法人税等合計 | 41,346 | 14,142 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | - | 103,239 |
| 四半期純損失() | 1,015,182 | 103,239 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失() | 973,836 | 89,097 |
| 減価償却費 | 243,091 | 220,428 |
| 減損損失 | 441,133 | 8,791 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 8,914 | 3,022 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 61,403 | 8,405 |
| 受取利息及び受取配当金 | 3,196 | 996 |
| 支払利息 | 31,160 | 28,707 |
| 投資有価証券売却損益(は益) | 10,567 | - |
| 売上債権の増減額(は増加) | 309,580 | 106,358 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 21,594 | 79,507 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 113,994 | 25,302 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 6,579 | 12,384 |
| 固定資産除却損 | 43 | 849 |
| その他 | 88,241 | 99,608 |
| 小計 | 434,817 | 472,459 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,812 | 1,342 |
| 利息の支払額 | 35,405 | 28,647 |
| 法人税等の支払額 | 29,334 | 31,013 |
| 法人税等の還付額 | - | 11,775 |
| 特別退職金の支払額 | 193,064 | - |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 688,809 | 425,916 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 213,916 | 1,200 |
| 定期預金の預入による支出 | 600 | 600 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 21,312 | - |
| 有形固定資産の取得による支出 | 61,431 | 143,102 |
| その他 | 642 | 5,939 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 172,554 | 136,562 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 1,050,000 | - |
| 長期借入れによる収入 | 150,000 | 97,746 |
| 長期借入金の返済による支出 | 333,657 | 252,646 |
| リース債務の返済による支出 | 1,141 | 1,898 |
| 自己株式の取得による支出 | 9 | 5 |
| 配当金の支払額 | 125 | 36 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,234,933 | 156,840 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 22,770 | 48,674 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 1,773,958 | 83,837 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,437,831 | 562,212 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 663,872 | 646,050 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末 (平成22年3月31日) |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 減価償却累計額には減損損失累計額が含まれており ます。 | 減価償却累計額には減損損失累計額が含まれており ます。 |

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

| 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------------------|--------|-----------|----------|----------|--------|----------|-------|----------|-------|-----------|----|----|----|------|----------|----------------------|---|-------|----------|-------|-----------|--------|----------|-------|----------|-------|----------|----|----|----|--------|----|------|---------|-------|
| <p>1 販売費及び一般管理費の主なもの</p> <table border="0"> <tr><td>荷造運搬費</td><td>40,899千円</td></tr> <tr><td>給与・賞与</td><td>332,474千円</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td>10,457千円</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td>20,291千円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>72,202千円</td></tr> <tr><td>研究開発費</td><td>356,047千円</td></tr> </table> <p>2 減損損失</p> <p>当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しております。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遊休資産</td> <td>建物及び構築物等</td> <td>東京都昭島市 米国カリフォルニア州</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、管理会計上の区分に基づいて事業用資産をグルーピングしております。ただし、遊休資産については、当該資産単位にてグルーピングを行っております。</p> <p>また、遊休資産については、将来における具体的な使用計画がなく、将来の利用見込みが極めて不透明であるため、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失(441,133千円)として特別損失に計上いたしました。</p> <p>その内訳は、建物及び構築物409,762千円、機械装置及び運搬具26,016千円、その他5,355千円であります。</p> <p>なお、回収可能価額は、正味売却価額により測定しております。正味売却価額は、他への転用や売却が困難なことから、零円としております。</p> | 荷造運搬費 | 40,899千円 | 給与・賞与 | 332,474千円 | 賞与引当金繰入額 | 10,457千円 | 退職給付費用 | 20,291千円 | 減価償却費 | 72,202千円 | 研究開発費 | 356,047千円 | 用途 | 種類 | 場所 | 遊休資産 | 建物及び構築物等 | 東京都昭島市 米国カリフォルニア州 | <p>1 販売費及び一般管理費の主なもの</p> <table border="0"> <tr><td>荷造運搬費</td><td>48,881千円</td></tr> <tr><td>給与・賞与</td><td>295,480千円</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td>15,645千円</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>76,640千円</td></tr> <tr><td>研究開発費</td><td>60,244千円</td></tr> </table> <p>2 減損損失</p> <p>当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しております。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北米</td> <td>遊休資産</td> <td>建物及び構築物</td> <td>8,791</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社グループは、管理会計上の区分に基づいて事業用資産をグルーピングしております。ただし、遊休資産については、当該資産単位にてグルーピングを行っております。</p> <p>また、遊休資産については、将来における具体的な使用計画がなく、将来の利用見込みが極めて不透明であるため、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。</p> <p>なお、回収可能価額は、正味売却価額により測定しております。正味売却価額は、他への転用や売却が困難なことから、零としております。</p> | 荷造運搬費 | 48,881千円 | 給与・賞与 | 295,480千円 | 退職給付費用 | 15,645千円 | 減価償却費 | 76,640千円 | 研究開発費 | 60,244千円 | 地域 | 用途 | 種類 | 金額(千円) | 北米 | 遊休資産 | 建物及び構築物 | 8,791 |
| 荷造運搬費 | 40,899千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 給与・賞与 | 332,474千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 賞与引当金繰入額 | 10,457千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 20,291千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 72,202千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研究開発費 | 356,047千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 用途 | 種類 | 場所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 遊休資産 | 建物及び構築物等 | 東京都昭島市 米国カリフォルニア州 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 荷造運搬費 | 48,881千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 給与・賞与 | 295,480千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 退職給付費用 | 15,645千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 76,640千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研究開発費 | 60,244千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地域 | 用途 | 種類 | 金額(千円) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北米 | 遊休資産 | 建物及び構築物 | 8,791 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|---|---|
| 現金及び現金同等物の当第3四半期連結累計期間末残高と当第3四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在) | 現金及び現金同等物の当第3四半期連結累計期間末残高と当第3四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年12月31日現在) |
| 現金及び預金 813,284千円 | 現金及び預金 795,676千円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 149,412千円 | 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 149,626千円 |
| 現金及び現金同等物 663,872千円 | 現金及び現金同等物 646,050千円 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、すべて同一セグメントに属する研磨関連事業を行っており、当事業以外のものがないため事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

| | 日本 (千円) | 北米 (千円) | アジア (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|---------------------------|------------|------------|-------------|-----------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 849,853 | 307,052 | 1,045,599 | 2,202,505 | | 2,202,505 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 627,423 | 20,741 | 457,665 | 1,105,830 | (1,105,830) | |
| 計 | 1,477,277 | 327,794 | 1,503,264 | 3,308,335 | (1,105,830) | 2,202,505 |
| 営業利益(又は営業損失) | 172,368 | 22,793 | 151,696 | 43,465 | (421,103) | 464,569 |

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 アメリカ

(2) アジア マレーシア・中国・その他アジア諸国

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

| | 北米 | アジア | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|---------|-----------|--------|-----------|
| 海外売上高(千円) | 228,576 | 1,147,293 | 16,349 | 1,392,219 |
| 連結売上高(千円) | | | | 2,202,505 |
| 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 10.4 | 52.1 | 0.7 | 63.2 |

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 アメリカ

(2) アジア マレーシア・中国・その他アジア諸国

(3) その他の地域 ヨーロッパ他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、研磨関連事業を展開しており、国内においては当社が、海外においてはマレーシア、中国及び北米の現地法人が担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取扱製品については各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「マレーシア」、「中国」及び「北米」の4つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、ポリッシングフィルム、ポリッシンググリキッド及びハードコートフィルム等の製品を生産・販売しております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額 |
|-------------------|-----------|-----------|---------|---------|-----------|-----------|---------------|
| | 日本 | マレーシア | 中国 | 北米 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 771,758 | 957,913 | 252,633 | 339,717 | 2,322,022 | | 2,322,022 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 795,113 | 150,545 | 364,010 | 15,970 | 1,325,640 | 1,325,640 | |
| 計 | 1,566,871 | 1,108,458 | 616,643 | 355,688 | 3,647,662 | 1,325,640 | 2,322,022 |
| セグメント利益又は損失() | 61,187 | 55,111 | 33,521 | 2,641 | 24,805 | 2,613 | 22,191 |

(注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額は、たな卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結累計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用したことにより、当第3四半期連結累計期間の【海外売上高】の表示は省略させていただきます。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。